

# LOVEALL INFORMATION

24期春の特大号 1

大変お待たせしました。春の特大号です。新入生も入ってくる(はずの)新学期、張り切っていきましょう！

四月のスケジュールです 「括弧」のところご注意ください

日	月	火	水	木	金	土
						1 「筑波戦」
2	3	4 「お休み」	5	6 湯島 午後Ⅱ	7	8 湯島 午後Ⅱ
9 OB 練 茗荷谷Ⅱ	10	11 茗荷谷 午後Ⅱ	12	13 湯島 午後Ⅱ	14	15 「お休み」
16 茗荷谷 「午後Ⅱ」	17	18 茗荷谷 午後Ⅱ	19	20 湯島 午後Ⅱ	21	22 湯島 午後Ⅱ
23 「文京区ダブルス」	24	25 茗荷谷 午後Ⅱ	26	27 湯島 午後Ⅱ	28	29 湯島 午後「Ⅰ」Ⅱ

※四月はかなり変則的な練習日程です。ご注意ください。



## 二月～四月生まれのみなさん(敬称略)

二月 2日 高野 絢子(OB)、大福 泰樹(M2) 7日 人見 彰彦(3男)  
 9日 浜本 将樹(OB) 25日 浜砂 信之(M1)  
 三月 1日 廣瀬 善大(4男) 4日 高宮 晶子(3女) 6日 山木 妙子(3女)  
 10日 長谷川 賢(4男) 16日 浜村 倫行(OB)、川上 徹(3男)  
 23日 しん で一(3男) 25日 田中 舞(4女) 27日 長谷川 徹(4男)  
 四月 5日 高橋 敦美(OG) 12日 飯塚 侑子(新3女)  
 15日 河原 吉伸(OB)、関 美緒(新4女) 17日 三浦 直人(OB)  
 19日 片山 智代(新M2)

お誕生日おめでとうございます♪



## 戦績と試合予定

### 東大リーグ新人戦

柴田：準優勝 下山：ベスト4

2月に行われた東大リーグ新人戦では、女子3部で、1女の柴田恵美さんが準優勝、下山百合江さんが4位と大健闘しました。おめでとう！！ また、試合中に両脚をつり、生まれたての小鹿のようにふるふるしてしまったキャプテンをはじめ、惜しくも途中で敗退してしまった他の参加者の皆さんも、それぞれすごく頑張ったと思います。試合の応援の方にもみんな熱が入って、点を入れたり取られたりするごとに、コートの外で一緒に一喜一憂した一体感も心地よかった1日でした。ちなみに、試合後は渋谷のケーキバイキングに行って、もりもり食べて体力を回復しました(笑)。

### 文京区ミックス

2部 野中・片山：3位

3部 岡野・渡邊(裕)：優勝

おめでとうございます！！

4月23日には文京区ダブルス大会があります。



## お帰りなさい！！

先々代執行のネタ担当、ナベケンさんが、長い旅から戻ってきました。

え？遅い？それは言わないお約束です。

多くのネタを持ち帰ってきたナベケンさん。知らぬ人はない…かもしれません。

知らないぞ！っていう方は、ドイツ産(たぶん)の黒いグミでナベケンさんを捕獲して、聞いてみましょう。

ところでここらへんだけ背景が違うことにお気づきでしょうか。この画像はオランダ…ではなく、プラハですね。ナベケンさんも、様々な危険を冒しつつはるばる行ってきたという話です。きれいな場所ですね。





## 春合宿のお詫び

結局春合宿は雪でした…寒くてすみません。雪が降った2日目は特に、体育館の中も恐ろしい寒さでした。なのに、お昼御飯は冷たい弁当で、身体が芯から冷えてくるかのようでした。対応も悪く、合宿交渉係としては大変申し訳ないです。ジャロット君の力を借りつつ、深くお詫びいたします。今後は良い宿を探したいと思います。

あ…これはこれで上田さんの怒声が聞こえてきそうですね…



## 追いコンがありました

追い出しコンパが池袋の夜景を背景に行われました。

サンシャイン60の60階の高さからの夜景は本当に絶景でした。

会は笑いあり、感動ありで進み、ラブオールのあたたかさを感じました。

先輩方には、ぜひこれからもラブオールに遊びに来ていただきたいです。

皆様、本当におめでとうございます。

※個人的には、最後まで食べ物をつまみつつ「食べている写真を撮ってくれ」と言ってくる大福さんの本能の赴くままの行動が印象的でした。



## 新勧について

いよいよ震撼…じゃない。新勧の季節がやってまいりました。

今回は特別ゲストでラブオールキャプテンのH見G彦さんにお越しいただいております。

H見さん、こんにちは。新勧への意気込みを一言どうぞ。

HG「サークルが一気に若返る季節ですね。みなさん、新入生に若いパワーを注入してもらいましょう。

あと、たくさんの新入生にラブオールの素晴らしさを知ってもらえるよう、執行一同頑張りますので、みなさんにもご協力お願いします。」

H見さん、ありがとうございました。

※ 24期執行は、ただでさえ人手が少ないのですが、就活や資格試験などの影響でますます不足してしまうことが予想されます。先輩方のご協力を得られれば幸いです。よろしくお願ひ致します。



## 交流戦

交流戦には参加していないので残念ながら詳細がわかりませんが、楽しかったようです。試合後の飲みでは、普段のラブオールの飲みとは異なる「若い」飲みが実施されたようで、気づいたら知らない人の家で寝ていた、などの報告もあります。なお、潰れた面々は「楽しかった」とも述べているとのこと。9時のニュースでした。

ラブオールの飲みって、やっぱり平和なんだなー、なんて思うエピソードですね。

しかし、よくよく考えてみると飲みサーの思想を知らない人が多い、ともいえるわけです。

彼らと楽しく、安全に飲むためには飲みサーの思想を知ること必要でしょう。

そこで今回は春の特大号スペシャルということで、飲みサーの思想について語った文章を付録につけることにします。期待せずに御覧ください。



## さいごに

今回は間があいてしまい、失礼しました。

僕自身、今後しばらくは資格試験でラブオールから半歩身を引いた状態になるので、少々書きづらいところですが、今後もインフォメをお楽しみに。え？楽しみじゃない？まあまあ、そんな本音は言わずに、これからもお願いしますよ。

# おまけ「NOと言える一男」

～飲みサーの思想～

## 序

この文章は、剣友会という駒場の飲みサーにおける激戦を潜り抜けてきたとある下戸松土が二年前に執筆した、対アルコールマニュアル…に、多少改変を加えたものです。

本当におまけなので内容はしょーもないですが、ラブオールの皆さんにとっては、飲みサーの思想を理解する一助にもなるかもしれません。まあ、一年生向けなので、一部はあたりまえのことです。また、一度に5人ずつつぶされていく恐ろしい飲み会を頻繁に行うサークルをもとにした話だということを前提にお読みください。

## 第1章 ～なぜアルコールなのか～

世の中にはアルコールに強い人、弱い人、あるいは陽気になる人、鬱になる人さまざまな人がいます。しかし、一般にアルコールは人間関係を円滑にし、話しやすくすると考えられています。まず、ここを押さえておきましょう。

もちろん、大学に入って背伸びをしているという側面もありますが…実際、友人を見てみると本当に楽しそうに飲んでいます。高校からの友人なんかは高校3年間で見たこともないような嬉しそうな顔をして飲んでいますね。

また、先輩から後輩に「飲め」といつてくるのには理由があります。

1つは後輩と話すきっかけがほしいということです。

たくさんいる中で、急に話しかけるということはなかなか難しいことです。そんなときに、「まあ一緒にのもうじゃないか」といった感じで先輩がすすめてくるわけです。

もう1つの理由として、ノリです。全くもって迷惑な話ですが、どうしても飲めない人はある程度拒んでしまっても大丈夫です。「ありえない」とか言われようが関係ありません。そんなことで人間の価値は決まりませんから。「すみません、本当にダメなんですよ」こんな調子で行きましょう。私は本気でビビっていましたが…というか今でもビビっていますが。

いずれにせよ飲むのはMUSTの場合だけ、そんなつもりでいると良いですが、飲ませようとする相手の気持ちもくんであげましょう。



## 第2章 ～飲み会とは～

基本的に、おけらだって飲みサーだってアメンボだって、飲み会のことをコミュニケーションの場だと思っています。なかなか話す機会のない人と話す機会です。OBとの交流なんかもありますね。

そのような場で求められるのは「酒豪」ではありません。「話し相手」です。先輩に対しても臆することなく話しかけていけば良いのです。男女も関係ありません…あまり。

しかしながらアルコール抜きでは話にくいという金がかかって気の毒な人もいるわけで、アルコールが介在してくるのも事実です。そこで、飲み会の席での処方箋を記しておきましょう。

先述の通り、酒をすすめてくるのにはそれなりの理由があります。

とりあえずは「飲めない」ということをはっきり伝えつつ、トークを楽しみましょう。そこは、ラブオールの飲みと変わりません。ただ、飲みサーの人々は**飲みたがっていることも多いので、つぐのは忘れないようにすると良いです**。これは同時に防御にもつながりません。

いずれの場合にも言えることは「**私はアルコールがダメですが、なくても話せるんです**」ということをはっきりさせておくことが肝要、ということです。「その場のノリについてこられない」ということが嫌われるのですから。**場に酔いましょう**。飲まなくても、飲ませれば良いです。素面で酔っ払いの相手がつとまるようになれば、達人です。僕は酔っ払いの相手がつとまるというよりは、素面で酔っているのだといわれますが。

いよいよ逃げ切れなくなった場合の飲み方は後述します。

余談ですが、この間発覚したところによると、僕は本当に場に漂うアルコール分で酔えるようです。弱すぎですね。

## 第3章 ～いかに飲むか～

飲み会の席では、みんな酔っ払いです。細かい思考は無理です。そこを考慮に入れましょう。

まず第一に、**飲むなら目立つように飲みましょう**。これで「あいつは頑張った」という印象を与えることが出来るからです。細かなことですが、重要です。もちろん、**飲めないことを明示したうえでないと、さらに飲まされますよ**。ご注意を。

さらに高等テクも記しておきましょう。ビンで飲まされそうになった場合です。

ビール瓶なんかは中身がそんなに見えません。そこで、です。流れ込んでくる液体を舌でせきとめて、飲んだふりだけしましょ。これも目立つようにやって良いでしょう。

また、これは大五郎（これ→）のよんな量の多い酒にもつかえる技です。減った量なんてわからないですからね。



## 第4章 ～いかに過ごすか～

先に「No」と言う」これが基本です。しかし、「クラッシャー」と呼ばれる危険な方々の存在も見逃してはなりません。そういった方々からは逃げるに如くはありません。

安全そうな先輩のところ、その先輩と喋りながら食事をするのも良いでしょう。それだけでも楽しめます。しかし、飲めないことさえ認知してもらえれば、どのような相手と話していても無理に飲まされることはそうはないはずですよ。

サークルの中での位置付けが向上すればするほど、飲めないことは容認されていきます。飲みをただ嫌うのではなく、人とのコミュニケーションの場として捉えることが重要ではないでしょうか。いろいろな人とのコミュニケーションを図っていれば、自然とサークル内の位置付けも上がっていきますよ。まあ、楽しく喋っていれば良いのです。

それから、飲み会の前に軽く油分を摂取しておくことも重要です。

もっとも、「防具」と称してマックシェイクを飲む友人たちの姿は、何か戦いへの予兆を感じさせるものでしたが…

## おまけ ～酒の種類と特徴～

私自身はアルコールが全くダメで、「カクテルなんかなら甘いし、飲めるだろう」なんて言われても「アルコールが入っていなければもっと良いだろう」なんて返してしまうのですが、とりあえずここでは主な酒について記しておきます。

ビール

のどごしが良いのだそうです。私は気持ち悪くなります。

日本酒

ポン酒とも言います。飲みやすいものは飲みやすいそうですが、調子に乗って飲むと、よ

くわからないうちに潰れます。ご注意ください。

ウォッカ

ロシア人。割らずに一気をすると本当に死にます。9割以上がアルコールって、どう考えても実験室のような気がします。

ジン

強いです。

大五郎

鏡月などと類似。安い・多い・まずいという酒です。一般には割って飲むようですが、剣友会では「まずいものが増えるだけだ」と言ってそのまま飲むことも多いです。「工業用アルコール」「D五郎」「D(というか、不可)」とも呼ばれます。ビールでは潰れない酒豪を潰して酒代を浮かすために合宿に投入されますが、やめていただきたいです。

ちなみにこの背景の男の子は、「子連れ狼」と呼ばれる元公儀介錯人の息子であり、酒とは無関係です。

「〇〇のアクエリアス割」

どうやら体液に近い組成の液体が吸収されるときに、一緒にアルコールも吸収されてしまうようです。通常よりも酒が早くまわります。気をつけてください。割らずに飲んでも同様の効果があるので、注意が必要です。逆に、前述の通り飲み会の前にシェイクなどの乳製品で保護膜を形成しておく、比較的楽に戦えます。また油分なんかも重要です。

短編ノンフィクション

～ある一男の経験～

あれは秋口、M治大学で行われた大会の後の飲み会だったと思います。

我々剣友会がいつものように飲み会を終え、飲み屋の階段を上っていった時に彼は現れました。

いや、我々の視界に飛び込んできたといったほうが妥当かもしれません。

彼は現れようとして現れたのではなかったのですから。

彼に正常な意識があるとは思えませんでした。

意識があったかどうかすら定かではありません。いや、恐らくはなかったのでしょう。

うめくこともなく、地面に横たわるスーツ姿の若者。みたところ学生でした。

どうやら、気の毒な若者は冷たい仲間に「**放置**」されたようです。

我々は若者の介抱を試みたのですが、しばらくすると大量の「つ〇八」の料理がいささかもとの形状を失ってその場にたちあられました。「**放置**」したままだったら、その料理のなれの果ては彼の命を奪ったかもしれません。「**それ**」が**気道に詰まることは、すなわち窒息を意味する**からです。意識のない彼に、それを取り除くことは困難に違いありません。

さて、彼の命が救われたところで、もう1つの問題が浮上してきました。

「**こいつは一体何者なんだ?**」

なぜかその手には使い捨てカメラ。酔った先輩はそのカメラでサークルのメンバー他、若者自身を10枚ほど撮っていましたが、それがどのような結果を生んだかは、また別の話です……

話を戻しましょう。

彼の携帯も鞆も近くにはありません。

財布に入っていた学生証から、**その日の試合にいた**ことは分かったのですが、悲しいかな連絡先は分かりませんでした。

結局110番で解決してしまったのですが、彼は未成年。

…彼に対する同情は禁じえません。

なにせよ、あんな状態の人を「**放置**」するなんて非常識です。

**アルコールは実際問題危険をはらんでいます。**ご注意ください。

そうそう、そういえば彼が倒れていたのは結果として駅前駐輪場だったのですが、そこにはこんな看板が立っていました。

「**放置禁止**」

おあとがよろしいようで…